



ターゲットを絞った
野菜づくり

和島 千春さん

【出身地】東京都
【就農前の仕事】医療事務
【就農地】遊佐町
【就農年度】令和元年度
【経営概要】ズッキーニ・大玉トマト・なす・
きゅうり他在来作物を中心に少量
多品目の野菜70a (うちハウス217㎡)

東京生まれ、東京育ちで、以前から田舎暮らしへのあこがれがありました。軽井沢に住んだことがあり、都会を離れての自給自足生活への関心が高まり、夫の実家が酒田だったことから遊佐町での就農を決めました。

農業に関しては全く知識も経験もなかったので、皆が作っている作物では喰い込んでいけないと思いました。特定の人に需要があるものが売り出すときの強みになるのではないかと考えて在来作物を中心に150種類ほどを作り、主に首都圏に野菜セットを直販しています。

実際就農してみると、土壌栄養のことや地形を踏まえた水利、工具の使い方や農機具の整備など、想像以上に頭を使う作業や工程が多いことに驚きましたが、自然を体感し、気持ちも豊かになって、健康的になったと実感しています。

多品目を作っているなので、スケジュール管理は必須で、冬に

まとめて1年分、品目ごとの計画を立てています。悩むことも楽しみの1つなので苦労は感じませんが、土壌が悪いところがあるので今後は畑の土づくりが課題です。

牛糞や鶏糞を使わない自然農法を実践していますが、馬糞なら使える可能性があるのでチャレンジしてみたいです。また、スベルト小麦という、古代小麦で食物アレルギーが出にくい小麦の栽培もしてみたいと考えています。

〈これから就農を目指す人へのアドバイス〉

農業は黙々とした単純作業に思われがちですが、思っているよりずっとアカデミックな仕事です。農作業は天候に左右され、作物の生育は待つはくれないので、瞬発力が必要だと思います。